

第1学年A組 英語科授業案

公開 I 1 A 教室
授業者 天野 万喜男

1 単元 My Greats, My Words (Listen to Me)

2 単元の構想

(1) めざす子どもの姿

「日本人の考える偉人を教えてほしい」というEメールがアメリカの中学校から届き、子どもは偉人について調べ始める。自分にとっての偉人を紹介するための英文を考え、紹介文をいかに効果的に伝えるかを考える。学級での話し合いを経て、より伝わりやすい紹介へと改善を重ねた子どもは、ALTからのアドバイスをもとに自分の紹介を改善し、アメリカの中学校へビデオレターを送る。

(2) 英語科としての学び

前単元で、「いなりずしを世界へ広めたい」と願うおかみさんの役に立とうと、ポスターやパンフレット作りに取り組んだ。中学校に入ってまだ語彙や表現を十分に身につけていない中での取り組みだったが、辞書やALTのアドバイスをもとに熱心に作品をつくりあげた。しかし、グループでの作業が多く、一人一人が英語を使えるようにすること、また意見交流でも英語を使う頻度が少なく、意見交流を行うために必要な英語表現を身につけることが課題となった。

そこで本単元では、自分の考える偉人を紹介する活動に取り組む中で、語彙や表現の幅を広げ、英語で自分の意見を相手に伝えるために必要な力を身につける。また、互いの発表についてコメントするための英語表現を「New Classroom English」としてまとめて毎時間練習する。アメリカの中学生との意見交流を終え、交流の楽しさを実感した子どもは、さらに交流の場を広げてみたいと動き出す。

アメリカの学校から「日本の同世代の仲間が考える偉人について教えてほしい」というEメールを紹介された子どもは、自分の考える偉人を調べ始める。紹介文作成のためには「三単元のS」や「過去形」といった文法事項の習得が必然となってくるので、単元の中に位置づける。また、作った作品を相手に伝える活動は、聞く相手の立場に立った作品作りを行う姿勢を身につけることにつながる。アメリカへビデオレターを送り、その返事を受け取った子どもは、英語で意見交流ができた喜びを味わい、日本人とアメリカ人の考える偉人の違いについて学ぶことができる。

(3) 「学んだこと」を子どもが見つけ出すためのはたらきかけ

PROSPECTの過程では、アメリカの中学校から届いた「日本の中学生が考える偉人について教えてほしい」というEメールを紹介する。子どもは自分の考える偉人に目を向け、英語で紹介してみたいと考える。次に、誰の、どんなことを、どうやって紹介したいのかなど、その後の追究の方向性や方法についても見通しをもてるよう、話し合いの場を設ける。また、日本語を直訳するのではなく、英文にしやすいよう日本語をパラフレーズしてから英訳に取り組めるよう、例を挙げて説明する。

PROGRESSの過程では、アイコンタクトのような非言語を含めて、相手に自分の思いを効果的に伝える方法を考えさせるために、学級内で紹介を見せ合う場を設定したり、プレゼンテーションのあり方を示した映像を見せたりする。並行して、英語で話し合うための表現を「New Classroom English」としてまとめ、毎時間練習することで、語彙や表現を増やしたり、もっと英語で意見交流で使ってみようという意欲をもたせたりする。

PROCEEDの過程では、作品をALTに紹介しアドバイスをもらうことで、ビデオレター作成のための最終の改善を行い、アメリカの中学校へ送る。アメリカの中学生からの返事ってもらうことで、国によって異なる偉人に対する考え方を知る一方で、自分の考える偉人を伝えられた喜びを味わい、英語で表現することへの自信を深める。

単元を終えたあと、他の外国の方にも紹介し意見を聞いてみたいと願い、相手を探したり、新たな偉人に目を向けて紹介文を作ったりする子どもの姿を期待したい。

過程	想定される行動と はたらきかけ	思い・考え	共有された思い・考え	「学んだこと」	教科で重視する 力の育ち	
	英語で行ういなりずし作りはおもしろかった	自己紹介が上手にできた。もっとたくさんのことを紹介したい		外国の人に自分の英語を聞いてもらいたい		
P R O S P E C T	① アメリカの学校から届いた「日本人の考える偉人を教えてほしい」というEメールを紹介する	① 「日本人の考える偉人を教えてほしい」というメールが届いた。アメリカの中学生に紹介したい 1~5時	② 日本語をそのまま英文に直訳するのは難しい	伝えるためにどんな工夫をしたらよいのだろうか	日本人を紹介した方がよい	☆Grammatical competence ・三単現のS、人称代名詞、過去形を身につける ☆Discourse competence ・相手に伝えるための、画像やボードを用いた紹介を作成する
	② 英作文を容易にするために、長く難しい日本語をかわらフレイズするように、例を挙げ説明する	② 英文にする前に、日本語をパラフレイズするとよい	画像や文を用いて、目で見ても分かるように伝えたい	「日本人の考える」だから、国にこだわらなくてよい		
P R O G R E S S	紹介文についての意見交流をし、改善をする	語彙や表現を身につけ、紹介のための工夫がわかった。これから、発音や大きさ、画像など相手に伝えるために工夫する必要がある	紹介が効果的に伝わるよう、仲間と意見を交わし、工夫、改善したい 6~11時 (本時11)			☆Sociolinguistic competence ・相手をほめたりアドバイスをするなど、話し合いにおいて相手に伝えるために必要な表現を身につける ☆Strategic competence ・アイコンタクトや間の取り方など効果的な英語の表現の仕方について工夫を重ねる
	③ 意見交流のために必要な語彙や表現を身につけるために「New Classroom English」として掲示物やプリントを作成し毎時間練習する	③ 語彙や表現を知ってもらうために掲示や配布をしたい	④ 効果的な紹介の仕方にはどんな要素があるのだろうか	「New Classroom English」としてまとめ学級で練習する		
P R O C E E D	④ アメリカから届いた映像を視聴させることで、効果的な紹介について考えるきっかけとする	④ 仲間の英語の発表も理解できるようになった	アイコンタクトも意識して紹介したい	意見交流をして、改善のポイントがわかった		☆Strategic competence ・ALTからのアドバイスをもとに、より伝わりやすい表現に変える ☆Sociolinguistic competence ・アメリカからの返信ビデオレターから、意見交流のための表現を取り、身につける
	アメリカの学校へのビデオレターを作成する	相手に伝えるための工夫を学ぶことができた。アメリカの中学校へビデオレターを送るのが楽しみだ	偉人紹介をアメリカの中学生に伝え、意見を聞きたい 12~15時			
	⑤ ビデオレター作成前の最終確認のために、ALTに紹介をする時間を設ける	⑤ ALTに紹介し、改善のためのアドバイスがもらえた	アメリカから返信のビデオレターが届いた。アメリカの中学生も僕たちの英語を理解してくれた			
	⑥ アメリカからのビデオレターを視聴させることで、偉人についての考え方の相違に目を向けさせる	外国の方と話す時は、目線や間を特に大事にしたい	偉人については、日本人とは違う考え方がる	自分の意見が相手にわかってもらえることはうれしい		
	新しい語彙や表現を身につけることができてよかった	発表や意見が相手に伝わるとうれしい。もっと英語を使ってみたい	偉人の紹介をアメリカの中学生に伝えることができた。自分で作った紹介を聞いてもらったことは、かけがえのない経験となった。これからも英語の語彙や表現を身につけ、たくさんの人と意見交流したり、いろいろな考え方に触れたりしていきたい			英語で紹介する活動ができて自信になった。次もがんばりたい

4 本時の構想 (11/15)

アメリカの中学校からのEメールを受け取った子どもは、アメリカ人に伝えるための工夫について話し合い、五つの視点(「construction (文の構成)」、「picture (画像)」、「writing down (書くこと)」、「loudness (大きさ)」、「fluency (流暢さ)」)に気づき、その視点をもとにして自分の考える偉人について英語でまとめてきた。また、意見交流のための英語表現を出し合い、「New Classroom English」としてまとめ、毎時間練習している。

ビデオ撮影を前に、本時はグループ内で互いに見合うことで自分の紹介を改善する。また、これまでもっていた視点の他に、「Do you know him?」のような問いかけや、「eye contact (アイコンタクト)」のような非言語表現も有効であると認識し、紹介を仕上げるための見通しをもつ。

